

# 平成30年度

## 登録左官基幹技能者認定試験問題（60分）

### 関東ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題（四肢択一法）

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて10頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
  - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
  - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。  
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
  - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

**問題 1** 登録基幹技能者に期待されている仕事の内容に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、熟達した作業能力と豊富な知識を持つ者である。
2. 登録基幹技能者は、現場をまとめ、マネジメント能力に優れた者である。
3. 登録基幹技能者は、設計業務の補佐をすることが期待されている。
4. 登録基幹技能者は、国土交通大臣が登録した機関の資格認定を受けた者である。

**問題 2** 登録左官基幹技能者のメリットに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 公共工事の受注拡大
2. 総合評価落札方式での評価
3. 優良住宅賞の認定
4. 経営事項審査での加点評価

**問題 3** 登録基幹技能者の制度に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 初級技能者を「見習い」という。
2. 中級技能者を「中堅技能者」という。
3. 上級技能者を「職長」という。
4. 最上級技能者かつ上級職長であり資格試験に合格したものを「熟練技能者」という。

**問題 4** 登録基幹技能者に求められる能力に関して、最も不適当なものはどれか。

登録基幹技能者がその役割を遂行するためには、専門的な作業能力はもちろん、1. 企画・マネジメント・教育指導など幅広い分野における多彩な能力が求められている。登録基幹技能者に求められる能力は、2. 十分な経験を有し、熟達した作業能力、3. 地方の活性化等に的確に対応した作業能力、4. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力、である。

1. 企画・マネジメント・教育指導
2. 十分な経験を有し、熟達した作業能力
3. 地方の活性化等に的確に対応した作業能力
4. 現場をまとめ、体系だった効率的な作業を実施するための管理能力

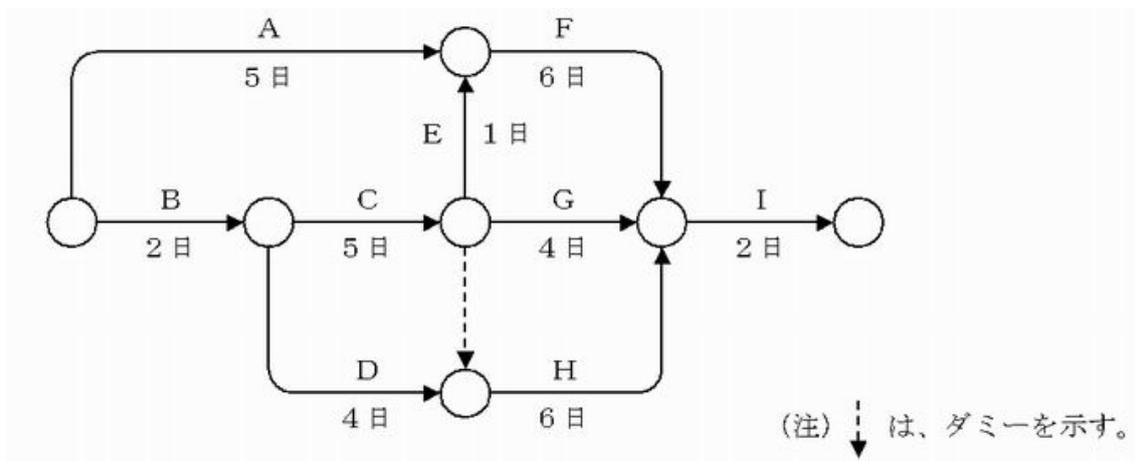
**問題5 登録基幹技能者の評価・活用に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 技能労働者の位置づけを総合評価方式の評価対象とすることにより、登録基幹技能者を初めて使用する企業が増え、脆弱な専門工事業者の確保が、技能者の処遇改善よりも若年者の入職困難、技能の低下につながる。
2. 公共工事の品質確保やインフラの維持管理のため、中長期的な担い手が求められる中、登録基幹技能者制度は技能労働者のレベルアップにつながる。また、登録基幹技能者となった技能労働者が若手の目標となり、担い手の育成にも寄与する。
3. 資格保有者が少ないこと、また、職種により登録者数に偏りがあることから、工事によっては、登録基幹技能者の手配に苦勞している実態がある。登録基幹技能者制度のさらなる普及により認定者が増加し、地域差等が解消されれば、元請業者だけでなく、下請業者を含めて施工能力を評価する有効な評価指標となる。
4. 技能者の中で登録基幹技能者を目指す環境を整える観点から、本制度の認知度向上は、優良な技能者を育成する上で有効と考えられる。

**問題6 左官技能者のレベルに関して、最も不適当なものはどれか。**

1. レベル1は、経験年数が0～3年の見習い工の左官技能者
2. レベル2は、経験年数が3～7年の中堅技能者
3. レベル3は、経験年数が5～15年以上の職長・熟練技能者
4. レベル4は、経験年数が10～15年以上の登録基幹技能者

問題7 下図の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表は、ネットワーク式工程表である。
2. この工程表のクリティカルパスは、B→C→H→Iである。
3. このプロジェクトの所要日数（工期）は、16日である。
4. この工程表における点矢線はダミーであり、作業はない。

問題8 建設業法遵守ガイドラインに記載されている項目に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業法第20条第3項： 敷地条件の提示
2. 建設業法第18条、第19条第1項、第19条の3、第20条第3項： 指値発注
3. 書面による契約締結
4. 建設業法第19条の3： 不当に低い請負代金

問題9 建設業法における専門工事業の許可のある29業種に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 左官工事
2. タイル・れんが・ブロック工事
3. 板金工事
4. はつり工事

問題 10 ブレーンストーミング(BS)の手法を用いて行う場合に関して、最も不適当なもの  
のはどれか。

1. 8~11人程度の人数で行うと、適切な情報をうまくまとめることができる。
2. 競争心により自由で活発な意見を得ることができる。
3. ゲーム感覚で誰もが楽しく話し合いをすることができる。
4. 連鎖反応により豊富で多彩な情報を得ることができる。

問題 11 左官材料に関する用語と解説で、最も不適当なものはどれか。

1. メチルセルローズは界面活性剤で、漆喰用の糊として使用される。
2. 再乳化形粉末樹脂は加水して攪拌・混合することで合成樹脂エマルジョンになる。
3. セルフレベリング流しこむだけで平坦になる性質のこと。
4. のろとは乳化剤の作用により小さな粒になって水の中に分散したもの。

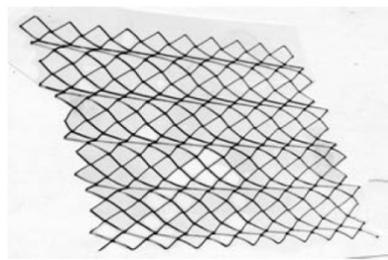
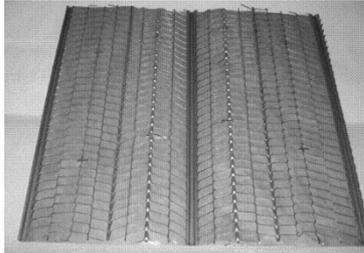
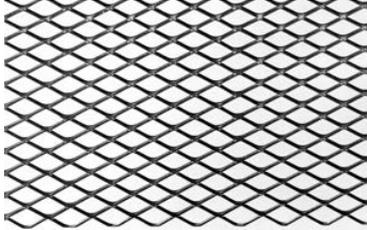
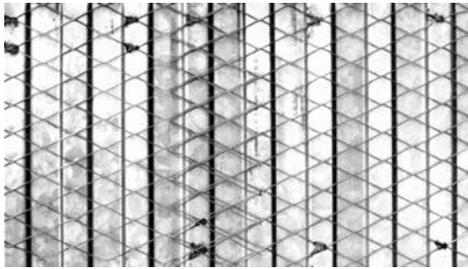
問題 12 現場調合セメントモルタルの塗り工法の塗り厚に関して、最も不適当なものは  
どれか。

1. 1回の塗り厚は、6mmを標準とし、9mmを限度とする。
2. 仕上げ厚は、天井、庇が12mm以下とし、その他が30mm以下とする。
3. ALCパネル下地の総塗り厚は、15mm程度を上限とする。
4. モルタルの総塗り厚が35mmを超える場合は、溶接金網、アンカーピンまたはネット  
などを取り付けた上で、モルタルを塗付する。

問題 13 仕上塗材の種類と呼び名の組み合わせで、最も不適当なものはどれか。

	仕上塗材の種類	呼び名
1.	内装消石灰・ドロマイトプラスター系薄付け仕上塗材	内装薄塗材G
2.	内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	内装薄塗材E
3.	内装セメント系薄付け仕上塗材	内装薄塗材C
4.	内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材	内装薄塗材W

問題 1 4 1 から 4 のラスの名称と図の組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか

	ラスの名称	図
1.	波形ラス	
2.	防水紙付きリブ系ラス	
3.	平ラス	
4.	リブラス	

問題 1 5 左官に関する用語と解説で、最も不適当なものはどれか。

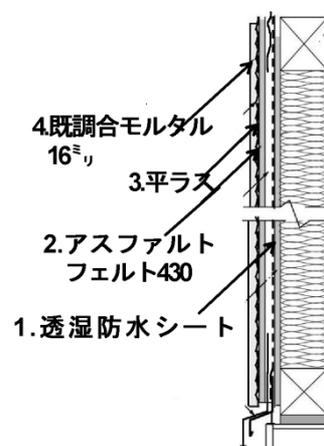
1. スラリーとは液体中に細かい固体粒子が濃厚に混合され、かつ安定の状態にあるもの。
2. エフロレッセンスとは、セメントを用いた材料の硬化後の表面に発生する白い綿状の結晶物のこと。
3. レイタンスとは極度に乾燥し、水分の不足によって硬化不良になり、強度不足を招く状態のこと。
4. ブリージングとはコンクリートおよびモルタルの練り混ぜ水の一部が分離して上方に移動する現象のこと。

問題 16 塗り壁の故障の原因・内容・是正措置のそれぞれの組み合わせに関して、最も不適当なものはどれか

1. 硫化物を含む砂は、変色を発生しやすくなるので、取り替える処理が必要である。
2. エフロレッセンスは、しみ・はく離を発生するので、除去することが必要である。
3. 上塗り富調合は、ひび割れや剥離を発生させるので、下塗りほど貧調合にする。
4. 未乾燥のモルタルにせっこうプラスターを塗ると、はく離やひび割れが発生するので、モルタルを十分に乾燥させてから塗る。

問題 17 二層通気構法の図にある仕様で、使用部位・材料として、最も不適当なものはどれか。

1. 透湿防水シート
2. アスファルトフェルト 430
3. 平ラス
4. 既調合モルタル 16<sup>ミリ</sup>



問題 18 左官下地と塗り層における劣化のメカニズムに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 図 1 は乾湿ムーブメント（モイスチュアムーブメント）を示している。

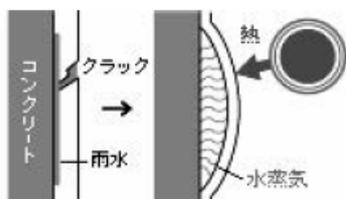


図 1

2. 図 2 は、相対的ムーブメント（ディファレンシャルムーブメント）を示している。

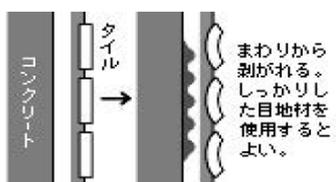


図 2

3. 図 3 は熱冷ムーブメント（サーマルムーブメント）を示している。



図 3

4. 左官下地と左官塗り層との寸法変化（ムーブメント）は仕上げ初期のみ発生する。

**問題 19 仮設工事計画に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 鋼製足場のパイプサポート、角パイプなどで構成される支保工足場等は、直接仮設工事に区分される。
2. 作業所に設置する現場事務所・作業員休憩所等は、直接仮設工事に区分される。
3. 設計仕様、数量、設計図面、施工法、配置などが指定されている仮設工事を指定仮設という。
4. 仕様、構造等の条件が明示されていない、施工業者の自主性と企業努力に委ねられる仮設工事を任意仮設という。

**問題 20 搬入計画に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 搬入資材の品質を確認する。
2. 運搬車両の駐車位置を確保する。
3. 搬入経路の道路幅、高さなどを確認する。
4. 搬入資材の使用時期を確認する。

**問題 21 実行予算に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. 作業所長など、その工事現場を担当する責任者が入って作成する。
2. 積算段階での見込みや標準的な単価を根拠に作成する。
3. 受注できた後に、各種工事の具体的な施工計画を立て、発注する枠組みで作成する。
4. 工事を実行するのにかかる費用をできるだけ精密に予測・算出したものである。

**問題 22 コンクリートに発生するクラック防止対策に関して、最も不適当なものはどれか。**

1. コンクリートのひび割れは、急な温度変化に影響されやすいため、シート等で養生を施すと効果がある。
2. 柱、梁などの主要構造物よりも断面積が小さい壁には、クラックが発生しやすいため、適度に誘発目地を配置する。
3. 基礎部分などの大断面のコンクリート構造物は、コンクリート内部の熱膨張により、低温の表面部が引っ張られ、ひび割れを起こすことがある。
4. 一般的に、壁に取り付ける誘発目地は、柱側からできるだけ離して配置する。

**問題 2 3 わが国建設業における労働災害の現状について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。**

1. 建設業の労働災害による死亡者数は、工事量が多くなったら必ず増加する。
2. 死亡災害を事故の型別で見ると、建設工事全体では墜落による事故が最も多い。
3. 建設業の就業者に対する死亡者の比率は、他産業に比較して高い産業である。
4. 建設業の安全対策が難しい理由のひとつは、多業種の専門工事業者が現場内に入場していることが挙げられる。

**問題 2 4 各種労働災害防止について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。**

1. 高さが 2.0m の所で施工する足場組立作業には、作業床を設置する必要がある。
2. 解体工事は短期間で終わるので、石綿による健康障害防止対策を考える必要がない。
3. 1t 以上の玉掛け作業に従事する作業者は、玉掛け技能講習を修了する必要がある。
4. 居ながらリフォーム工事では、感電、ガス爆発に注意する必要がある。

**問題 2 5 法で定められた建設現場における安全管理について次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。**

1. 現場では、作業員は常に安全な作業環境を保つ義務がある。
2. 労働災害がすれば事業者には刑事責任、民事責任、行政責任が発生する。
3. 複数業者が混在する 50 人の建設現場では、二次下請け業者には安全衛生責任者を選定する必要がない。
4. 特定元方事業者は、新たに現場内に入場する作業員の安全教育のための新規入場者教育を行う必要がある